第63回
北海道障がい者スポーツ大会活動報告

苫小牧市福祉部発達支援課
苫小牧市こども通園センターおおぞら園　楠　拓也

第63回北海道障がい者スポーツ大会が2025年9月28日に開催され、函館市・北斗市・鹿部町・八雲町の各会場にて熱戦が繰り広げられました。私たち理学療法士はコンディショニングブースを設置し活動しました。私は函館市・千代台公園陸上競技場でのブースを担当しました。

当日は快晴で秋の気配を感じながらも暖かな日差しが心地よい環境でした。利用者の主訴は、アップ時や競技後に生じた痛みやタイトネスが多く、下肢の筋群を中心とした対応が求められました。コンディショニングとしては、ストレッチやテーピングなど、各競技の特性に応じた介入を実施しました。選手からは「体が軽くなった」「安心して競技に臨めた」との声もいただき、競技現場における理学療法士の役割を改めて実感いたしました。

写真は北海道障害者スポーツ協会より提供

私は日常業務において小児の理学療法を専門としていますが、今回の活動を通してトレーナー視点での評価やテーピング技術のさらなる習得が必要であると痛感しました。同時に、障がい者スポーツの現場に近い距離で関わることができ、新たな出会いや学びを得られたことを大変うれしく感じています。

来年は室蘭市での開催が予定されています。それまでに自己研鑽を重ね、より質の高い支援ができるよう努めたいと思います。